

京都企業初、サステナビリティ・リンク・ローン契約を締結 ～地球温暖化対策をファイナンス面から推進～

株式会社SCREENホールディングスは3月16日、京都企業として初となるシンジケーション方式のタームローン「サステナビリティ・リンク・ローン契約」（アレンジャー：株式会社三菱UFJ銀行）を締結しました。本契約は、高い環境目標を掲げ、積極的に気候変動問題に取り組む企業を対象とした金融商品で、金利条件等の借入条件と借り手のサステナビリティ戦略に対するパフォーマンス評価が連動します。

当社は、2030年をゴールとする社会的価値向上の長期指針「Sustainable Value 2030」を設定しさまざまな課題に取り組んでおり、当社の環境目標の一つであるCO₂排出量削減目標については、気候変動の国際イニシアチブである「Science Based Targets (SBT) *イニシアチブ」の認定を取得するなど積極的な活動を展開しています。また、10年間の経営ビジョンをバックキャストした中期経営計画「Value Up 2023」（2021年3月期～2024年3月期）においても、サステナブル経営の実現を目指し、地球温暖化対策のための具体的な取り組みを実施しています。

本契約の対象となる環境目標は、事業所のCO₂排出量を2024年3月期までに2019年3月期比で10%削減するというもので、SBTに向けた継続的な活動の一部です。今回の契約では、環境目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（SPT）を設定しており、金利の優遇とSPTのパフォーマンスが連動することで、SPT達成への動機付けとなっております。なお、調達した資金は製造ファシリティーのエネルギー効率改善、再生可能エネルギー由来の電力調達比率向上や環境適合設計に基づく製品開発などにも活用していく計画です。

当社はこれからもサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

<本ローンの概要>

契約締結日	2021年3月16日
期間	3年
借入額	100億円
資金用途	事業資金
貸出人	三菱UFJ銀行、りそな銀行、京都銀行、滋賀銀行、日本政策投資銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行

本ローンは株式会社日本格付研究所（JCR）から、ローンマーケットアソシエーション（LMA）が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性および設定した目標の合理性について第三者意見を取得しています。詳細はJCRによる[評価レポート](#)をご参照ください。

※ パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準に抑え、また1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。
詳細は[こちら](#)

株式会社三菱UFJ銀行のリリースは[こちら](#)